

## 2019年度 事業報告書

2019年1月に抜本的改編を行った新組織体制により、特養サービス部・在宅サービス部・本部管理部、それぞれ三部が各部長体制のもと各部毎に掲げた目標の達成に向けて目標の共有と協力連携体制の強化が一層進み、大きく事業実績を伸ばすとともに、多くの目標を達成し成果を上げることができた。

特養サービス部においては、職員の人材育成とスキルアップ等を目的とした特養間での積極的な人事異動を実施し、行事や研修会の実施についても特養間における入居者や職員の交流・共同開催を行うことができた。在宅サービス部においては、最も協力連携体制が進み、栄光会の最重要課題であったサ高住の入居者確保について担当部長を中心に所属部の各管理者や担当者が一体となって終始前向き積極的に取り組んだ結果、38室まで到達すると同時に、サ高住入居者増加の効果によりヘルパーステーションやデイサービス、ショートステイなどの実績向上にも繋がった。本部管理部においては、特養サービス部や在宅サービス部が利用者へのサービス提供に専念できるよう施設管理課・栄養管理課・健康管理課を統括し、施設の維持管理や自主防災訓練の計画・実施、人材確保・育成、経費削減・補助金活用など介護現場の運営を側面から支援すべく取り組みをおこなった。栄光会の医療提供体制に関して、診療所の運営は9月末できよみず苑クリニックを閉院し東旺苑診療所に一本化、サ高住入居者へは地域の協力医院による個別訪問診療等への移行により更に充実した医療が受けられるようサポート体制を再構築した。

事業実績に関して、収入面は、全ての事業(きよみず苑クリニックを除く)において実績を伸ばし、前年度比4,200万円強の増収となり2019年10月から算定を開始した介護職員等特定処遇改善加算を控除しても3,700万円強の増収を確保した。支出面については、事業実績の上昇に伴う職員の増員や介護職員処遇改善加算の支給増により人件費が900万円強増加したが、人件費削減に関して重要課題であった派遣職員費支出においては職員定着率のアップやパッチワーク採用方式の導入および派遣職員の直接雇用への転換によって前年度比200万円弱の削減をはかることができた。2019年度の派遣職員から直接雇用への転換者は正規職員3名と非正規職員1名の合計4名である。

新体制のもと各部内の協力連携を強化、組織力を発揮し、全職員が一丸となって種々の取組を行った結果、2019年度の収支差額は、前年度比2,300万円強の改善で1,900万円を超え、きよみず苑・京都東開設後、法人最大の課題・目標であった栄光会全体としての「収支の黒字転換」を達成することができた。

## 1) 特養サービス部

本体施設である東旺苑とサテライト施設であるきよみず苑の関係強化を図る為、積極的な人事異動を実施、二事業所共同での研修や行事の実施も各部署の協力もあり少しずつではあるが実施することができた。

### ➤ 特別養護老人ホーム 東旺苑（従来型・広域型・本体特養）

2019年度は、前年度に引き続き、介護報酬加算の継続算定に努めるとともに、入所申込者を随時受け付け定期的な入所判定会議を行うことにより円滑な入・退所に努め、また発生した空床については、併設短期で利用するよう柔軟な対応を実施した。

看護部による嘱託医との連携強化及び異常の早期発見・対応を実施し入院人数は昨年度比で減少したが、入居者の高齢化も顕著であり入院日数については、昨年度を上回る結果となった。

介護部において、二事業所間での入居者交流会や、入居者ひとりひとりが満足できるケアの追求など課題が山積しているが、ケアにおいて、レクリエーションの充実に努め、リスク管理については、気づきを活用し事故防止に努め、事故が起こった際は速やかな対策会議を実施し再発防止に努めた。

また、京都市緊急入所システムより11月から措置入所として1名の受け入れを開始している。

10月度に介護サービス事業者の指定更新をおこなった。

#### 1 入居の状況（2019年度）

	入居者数（人）			満床時 延人数 （人）	延人数 （人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	10	41	51	1,500	1,478	98.5
5月	10	40	50	1,550	1,511	97.5
6月	10	40	50	1,500	1,475	98.3
7月	10	40	50	1,550	1,495	96.5
8月	10	40	50	1,550	1,520	98.1
9月	10	40	50	1,500	1,447	96.5
10月	10	41	51	1,550	1,482	95.6
11月	11	40	51	1,500	1,427	95.1
12月	10	40	50	1,550	1,464	94.5
1月	10	41	51	1,550	1,488	96.0
2月	10	40	50	1,450	1,435	99.0
3月	10	40	50	1,550	1,500	96.8
合計	121	483	604	18,300	17,722	96.9
平均	10.08	40.25	50.33	—	—	—

参考 平成30年度（2018年度） 年間合計充足率 **96.9%**

#### 2 入院の状況（2019年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数（人）	2	2	3	3	3	3	
延人日（人日）	22	39	25	55	30	53	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	5	5	3	4	2	3	<b>38</b>
延人日（人日）	68	67	74	42	15	48	<b>538</b>

参考 平成30年度（2018年度）の入院者数は、延べ**41**人で、延べ日数は**498**人日

### 3 入・退居の状況 (2019年度)

入居					退居				
在宅	老健	病院	緊急措置	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
2	0	2	1	5	0	2	3	0	5

参考 平成 30 年度 (2018 年度) の入・退居は各 12 件で、入院中退所(入院中死亡を含む)は 9 件

### 4 入居者の介護度 (2019年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合
介護度 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度 2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.4%
介護度 3	15	14	14	14	14	10	11	12	12	10	10	10	24.3%
介護度 4	7	7	7	7	7	8	8	8	8	9	9	9	16.0%
介護度 5	27	27	28	28	28	31	31	30	29	31	30	30	57.3%
平均	4.16	4.18	4.24	4.24	4.24	4.38	4.35	4.31	4.37	4.36	4.36	4.36	4.29

参考 平成 30 年度 (2018 年度) の介護度は 1 から 0%・2.5%・31%・24.9%・41.6% 平均介護度は、4.1

### 5 入居者の年齢構成 (2019年度末現在)

	～64歳	65歳～	70歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	0	0	7	9	15	13	5	1	50
割合	0%	0%	14%	18%	30%	26%	10%	2%	100%

2019 年度末の平均年齢は、87.4 歳

参考 平成 30 年度 (2018 年度) 末の平均年齢は、87.5 歳

### 6 入居者の入居期間 (2019年度末現在)

	1年未満	1年～	2年～	3年～	4年～	5年～	6年～	計
人数	6	9	4	10	8	4	2	
割合	12%	18%	8%	20%	16%	8%	4%	
	7年～	8年～	9年～	10年～	15年～	20年～	25年～	計
人数	1	1	0	4	0	0	1	50
割合	2%	2%	0%	8%	0%	0%	2%	100%

### 7 保険者の状況 (2019年度末現在)

	山科区	伏見区	東山区	上京区	大津市	北区	右京区	中京区	向日市	門真市	計
人数	34	5	4	1	1	1	1	1	1	1	50
割合	68%	10%	8%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	100%

➤ 東旺苑 短期入所（ショートステイ）

2019年度において、特養利用者の入院等における空床を積極的に活用し、緊急短期や新規利用者等の受入を積極的に行い17名の新規利用者の受け入れをし、うち4名は継続利用に繋げることができた。結果として昨年度を上回る高水準で稼働させることができた。

1 利用の状況（2019年度）

	利用者数（人）			満床時延人数 （人）	延人数 （人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4月	1	10	11	120	127	105.8
5月	1	10	11	124	125	100.8
6月	1	11	12	120	135	112.5
7月	3	8	11	124	107	86.3
8月	4	9	13	124	156	125.8
9月	3	10	13	120	156	130.0
10月	4	10	14	124	151	121.8
11月	3	9	12	120	152	126.7
12月	3	9	12	124	161	129.8
1月	2	10	12	124	181	146.0
2月	2	8	10	116	161	138.8
3月	2	8	10	124	149	120.2
合計	29	112	141	1,464	1,761	
平均	2.4	9.3	11.7		146.8	<b>120.3</b>

参考 平成30年度（2018年度）の新規利用者は14名、平均利用者数は12名、稼働率は**108.3%**

2 介護度別の延利用者数（2019年度） （日）

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均介護度
4月	0	66	25	36	0	127	2.91
5月	2	67	0	56	0	125	2.82
6月	0	75	22	38	0	135	2.83
7月	3	50	4	50	0	107	2.73
8月	3	39	39	75	0	156	3.08
9月	15	58	31	52	0	156	2.69
10月	5	60	38	48	0	151	2.71
11月	0	59	30	63	0	152	3.00
12月	0	44	62	55	0	161	3.17
1月	4	59	56	62	0	181	2.83
2月	0	50	61	50	0	161	3.00
3月	0	36	69	44	0	149	3.10
合計	32	663	437	629	0	1,761	
平均	2.7	55.3	36.4	52.4	0	146.8	<b>2.91</b>

参考 平成30年度（2018年度）の平均介護度は**2.85**

3 利用者の年齢構成（2019年度利用者実績）

	～64歳	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	計
人数	2	1	2	4	8	10	14	5	46
割合	4.4%	2.2%	4.4%	8.7%	17.4%	21.7%	30.4%	10.8%	100%

## ○研修受講状況（2019年度）

## 施設内研修

4月	うつ病について	施設内
6月	感染症・脱水について	施設内
7月	食中毒・感染症について	施設内
8月	誤嚥性肺炎について	施設内
9月	高齢者虐待防止・リスクマネジメント勉強会	施設内
10月	インフルエンザ感染症勉強会（毎週月木）	施設内
12月	自衛防災訓練（夜間想定）	施設内
3月	自衛消防訓練（日中想定）・土砂災害に係る避難訓練（日中想定）	施設内

## 施設外研修

4月	虐待予防について
5月	京都市集団指導
6月	福祉職員キャリアパス研修（中堅）・不在者投票説明会
7月	高齢者虐待と権利擁護・OJTリーダー育成研修
8月	管理職研修・介護研修（中級）・生活困窮社会における地域づくり
	OJTリーダー育成研修
9月	OJTリーダー育成研修・利用者の声を聴く
10月	1DAYチャレンジ
11月	福祉職場におけるケース記録セミナー
	ケアプラン研修
	介助技術の基本動作
12月	ケアプラン研修
1月	緊急措置会議
2月	管理職研修

## ○行事実施状況（2019年度）

4月	統一地方選挙苑内不在者投票・バプテスト教会慰問
5月	緑旺祭・菖蒲湯・茶話会・介護等体験受入
6月	介護等体験受入・マッサージ慰問・食事レク・買い物レク
7月	流しそうめん
8月	盆法要
9月	敬老祝賀会・利用者レントゲン検査
10月	清水焼の郷祭り・花火レク・動物園外出レク
11月	やましな区民祭・百々学区防災訓練
12月	クリスマス会・ゆず湯・バプテスト教会慰問・もちつき
1月	京都市長選挙苑内不在者投票・初詣レク
2月	節分レク・セレマレク

## ○介護業務

### ①人員不足・職員定着率について

一定の改善がされたが、未経験者の入職も多く、入居者の高齢化・重度化に伴う業務改善については課題が残る。

### ②栄養課との連携について

介護課が率先して動くことができず、栄養課頼りになってしまった。

### ③職員教育と入居者へのケアの向上について

外部研修に参加するも、その後の伝達研修まで繋げる事ができず、職員教育についても同時に多数の入職者があった場合には、対応が後手になってしまった。

## ○ケアマネジメント業務

### ①施設サービス計画書について

基本 6 ヶ月毎に見直しをしているが、入院等により解決すべき課題が生じた場合は速やかに見直しを実施している。また、新規入所者に関しては入所日までに事前プランを作成し入所後 10 日前後で見直しプランを作成しその後 3 ヶ月毎に見直しを実施しており課題整理統括表の作成にてニーズの引き出しを実施した。また全てのケアプランにおいて管理栄養士の協力の元、栄養プランと連動している。

### ②サービス計画進行管理表について

前年度に引き続き作成しプラン作成における不備防止に努めた。

### ③介護保険更新申請について

有効期間の満了に向け滞りなく実施し、また心身の状態変化等に伴う区分変更申請も適宜実施した。

## ○栄養管理業務

### ①栄養ケアプランより

新規入所者のカンファレンスに家族様や本人の参加を積極的に実施、家族来苑時に現状を伝えており、また高リスクの利用者については月 2 回の体重測定を実施、栄養リスクを細分化し把握・管理に努め、プランの連動を介護支援専門員と実施している。

### ②給食について

会議に介護職員の参加を促し現場の意見を反映させており、出勤時のミールラウンドを実施。食事について大きな苦情の発生もなく経過している。厨房職員と施設職員の交流・意見交換に努め厨房内の経費削減に取り組んだ。

### ③その他

- ・毎日ラウンドし日々の利用者情報の把握に努めている。
- ・食品衛生指導について、法人合同研修に取り入れ実施している。
- ・定期的な食事レクが実施できなかったが、家族参加型のレクは委託会社と協力し盛り上げる事ができた。

## ○健康管理業務

- ・主治医との連携に努める事で利用者の異常の早期発見・早期治療に取り組み、入院者数は前年度より減少したが、それぞれの利用者の高齢化・重症化に伴い入院日数は前年度を上回る結果となった。
- ・インフルエンザに関して、室温・湿度管理の徹底を行っていたが、1月に職員経路で感染。職員 7 名・入居者 7 名の罹患となり面会を禁止し対応し、2月には終息。その後、新型コロナにより面会禁止を継続している。
- ・研修及び委員会を通して服薬マニュアル、感染症マニュアルの見直しを行った。

➤ 介護老人福祉施設 きよみず苑（ユニット型・地域密着型・サテライト特養）

2019年度において、地域に開かれた栄光会を意識し、施設の一部を開放した夏祭りや花火鑑賞会を実施し、地域住民の訪問も多く好評であった。また地域密着型事業所としての運営推進会議も滞りなく実施したが、3月度より、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、会議開催を中止するも資料を各委員へ送付する事で地域包括支援センターや地域自治体との関係強化も図ることに注力した。

京都市の事業である介護相談員派遣事業も継続し、第三者の意見も参考に施設の取り組みに活かすことができた。また新たな取り組みとして、嘱託医をはじめとする多職種との連携を取り、看取りケアを実施し、それに伴う研修を2回に分けて開催した。

1 入居の状況（2019年度）

	入居者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	3	26	29	870	863	99.2
5月	3	27	30	899	873	97.1
6月	3	27	30	870	865	99.4
7月	3	26	29	899	877	97.6
8月	3	26	29	899	884	98.3
9月	3	27	30	870	846	97.2
10月	3	28	31	899	883	98.2
11月	3	25	28	870	841	96.7
12月	3	26	29	899	881	98.0
1月	3	26	29	899	899	100
2月	3	26	29	841	834	99.2
3月	3	27	30	899	874	97.2
合計	36	317	353	10,614	10,420	
平均	3	26.4	29.4		868.3	98.2

参考 平成30年度（2018年度）の平均充足率は97.1%

2 入院の状況（2019年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	1	2	1	3	1	1	0	2	1	0	1	1	14
延人日（人日）	7	21	5	22	15	19	0	29	18	0	7	17	160

参考 平成30年度（2018年度）の入院者数は、延べ19人で、延べ日数は193人日

3 入・退居の状況（2019年度）

入居					退居				
在宅	老健	病院	その他	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
0	3	1	1	5	3	1	1	0	5

参考 平成30年度（2018年度）の入・退居は、7件

#### 4 入居者の介護度 (2019年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合(%)
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度3	12	13	13	10	10	11	12	10	11	11	11	10	37.7
介護度4	10	10	10	12	12	12	12	11	11	11	11	12	37.4
介護度5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	24.9
平均	3.83	3.8	3.8	3.9	3.9	3.87	3.84	3.89	3.86	3.86	3.86	3.93	<b>3.86</b>

参考 平成30年度(2018年度) 平均介護度は**3.72**

#### 5 入居者の年齢構成 (2019年度末現在)

	～64歳	65歳～	70歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	0	0	2	4	6	9	5	3	29
割合	0%	0%	7.1%	13.8%	20.6%	31%	17.2%	10.3%	100

2019年度末の平均年齢は、**90.7**歳

参考 平成30年度(2018年度)末の平均年齢は、**89.6**歳

#### 6 入居者の入居期間 (2019年度末現在)

	1年未満	1年～	2年～	3年～	4年～	5年～	6年～	計
人数	5	4	6	2	10	2	0	29
割合	17.2%	13.8%	20.7%	6.9%	34.5%	6.9%	0%	100%

#### 7 保険者の状況 (2019年度末現在)

	山科区	東山区	左京区	伏見区	上京区	中京区	計
人数	20	4	2	1	1	1	29
割合	68.8%	13.8%	6.9%	3.5%	3.5%	3.5%	100%



○研修受講状況（2019年度）

施設内研修

4月	口腔ケアについて	施設内
5月	熱中症・脱水について	施設内
6月	食中毒について	施設内
	夜間緊急時対応について	施設内
7月	感染症勉強会	施設内
8月	誤嚥性肺炎について	施設内
	自衛消防訓練（日中想定）	施設内
9月	看取りについて	施設内
	口腔ケア勉強会	施設内
	身体拘束・虐待について	施設内
10月	身体拘束禁止・高齢者虐待防止 インフルエンザ勉強会 危機管理予測	施設内
11月	ノロウイルス勉強会 危機管理予測	施設内
1月	褥創勉強会	施設内
3月	自衛消防訓練（夜間想定）	施設内

施設外研修

4月	百々学区交通対策協議会・地域貢献会議
5月	百々学区少年補導委員会・京都市集団指導 コミュニケーション研修・メンタルヘルスケア研修
	地域貢献会議
6月	地域貢献会議
7月	百々学区少年補導委員会・地域貢献会議
8月	OJTリーダー研修・地域貢献会議・ファシリテーション研修
9月	OJTリーダー研修・地域貢献会議
10月	食の安全について・地域貢献会議・医療と介護で役立つ行動分析学
11月	感染対策の基礎知識と実践
1月	食事部会（口腔ケアアプローチ）

○施設行事实施状況（2019年度）

4月	介護相談員訪問・食事レク・ユニット誕生日レク
5月	介護相談員訪問・おやつレク・母の日レク・誕生日レク・すみれフェス
6月	介護相談員訪問・出前レク・誕生日レク・食事レク
7月	介護相談員訪問・七夕レク・法人ボーリング大会・おやつレク
8月	介護相談員訪問・夏祭り・おやつレク
9月	介護相談員訪問・花火レク・百歳お祝い・百々学区敬老のつどい・敬老祝賀会
	誕生日レク・入居者レントゲン撮影
10月	介護相談員訪問・清水焼の郷まつり
11月	エレクトーン演奏会・やましな区民まつり
12月	クリスマス会・もちつき
1月	おやつレク（ぜんざい）・介護相談員
2月	節分レク・雛人形飾りつけ
3月	誕生日レク

## ○支援業務

毎月定例で入居選考会議を実施し、入所前面接を計画的に行う事で円滑な入退居支援を行った。また、入居者の入院に伴う空床利用については、実施に至る事ができなかった。

## ○介護業務

人材確保に追われた年度であった事もあり入居者の個性を尊重した寄り添う支援の提供や、介護の質の向上や、職員の働きやすさを意識した環境作り、職員の指導体制に課題を残す結果となった。フロアユニット同士での協力体制が少しずつであるが構築でき、それにより臨機応変な対応を心がけた。

## ○栄養管理業務

### ①栄養ケアマネジメント

日々のミーラウンドにて食事摂取状況、また月に1回の体重測定、3ヶ月に1回の採血にて栄養状態・身体状態の変化を把握し、ケアマネジャーと連携、本人や家族の意向も含め多職種と協議し、栄養状態の維持・向上ができるよう、個別栄養ケア計画書を作成し本人や家族の意向を計画書に反映できるよう努め、各々の栄養リスクの把握に努めた。家族と電話連絡や面会時等に積極的にコミュニケーションを図り、栄養ケア計画書の説明だけでなく日常の食事の様子も伝えた。また終末期における寄り添う食事の提供にも努めた。

### ②食事の提供

夏祭りや餅つき大会などでは役所への届けを提出し、栄養課と委託会社が連携し、事故や感染症の発症なく安全に提供することができた。また衛生面や安全面を考慮しつつユニットの個性を活かしたレクを実施し、面前提供の際には目新しい献立や提供方法を工夫し入居者に美味しく楽しんでもらえる食事を提供に努めた。また委託会社の予定献立に組み込まれていない行事食は栄養士で調理し提供した。

### ③情報の共有・提供

栄養課として毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、改善点や提供方法等について検討・情報共有を行い、食事に反映できるよう努めた。また栄養課として「誤嚥性肺炎」についての勉強会を初めて開催し、「食中毒」や食品衛生指導についても施設内研修を通して実施した。嗜好調査の実施・集計を行い、入居者・家族、各部署へ公表し反映に努めた。フェイスブックや運営推進会議へ参加し家族だけでなくや外部への情報発信を積極的に実施した。京都市老人福祉施設協議会の食事ケア部会や看取りケアの研修等にも積極的に出席した。

## ○健康管理業務

嘱託医・他職種と連携を図り、入居者の身体状況の把握及び健康管理を行う事で異常の早期発見をし、入院人数・入院日数共に昨年度より減少させる事ができ、重症化の防止に努めることができた。

年間計画による研修を実施する事で、職員の知識向上を図り、緊急時の対応・感染予防・事故防止に繋げる事ができた。

また介護課と連携し、入居者の安心・安全な生活の維持に努めた。

## 2) 在宅サービス部

在宅サービス部の事業計画目標達成に向け、各部署とのコミュニケーションを重点的に強化する為、役職者との情報共有確認や職員と顔の見える関係性も構築できるように各部署の定時ラウンドを実施。結果としてそれぞれの目標数値に近づける事や大きく超えることができた。特に最優先課題としていたサ高住入居者獲得が 38 室まで達成出来た事は在宅部の職員が一丸となって取り組めた成果である。

ショートステイは開設以来、初めての稼働率 90%を超えた月もあり、リピーター顧客も増えてきた。また、職員を育成する部署としても活躍をした。

デイサービスセンターは、サ高住入居者増加や外部利用者の臨時利用枠を増やす事により、大きな壁である一日平均 22 名を超えた月もあった。

ヘルパーステーションはサ高住入居増加に伴い派遣件数も大きく伸び、安定した訪問活動となっている。

ケアプランセンターも徐々に給付管理数を上げており、サ高住入居へのサービス調整や外部利用者獲得の為に地域包括との連絡や事業者連絡会の研修担当も実施。

以上から、在宅サービス部の根本はやはりサ高住の入居室数と連動しており、入居者の高齢化や介護度の上昇に伴う退居は避けられない状況の中、報告・連絡・相談を密に取り、各関係部署が一丸となり今後も目標数値達成をめざす。

### ➤ 短期入所施設 きよみず苑 (ショートステイ)

支援職の円滑な受け入れや併設サービスとの連携・人員配置の見直し及び強化などにより、前年度より大きく実績を伸ばす事ができ、年間目標稼働率を上回る結果を出すことができた。また職員間の連携を強化し、年度内で 49 名の新規利用者を受け入れ、緊急ニーズに応え、継続利用者も増加の傾向にある。

#### 1 利用の状況 (2019 年度)

	利用者数 (人)			満床時延人数 (人)	延人数 (人)	稼働率 (%)
	男性	女性	計			
4 月	11	17	28	300	224	74.7
5 月	8	22	30	310	249	80.3
6 月	11	23	34	300	239	79.7
7 月	17	23	40	310	263	84.8
8 月	7	24	31	310	287	92.6
9 月	19	18	37	300	274	91.3
10 月	18	16	34	310	288	92.9
11 月	16	18	34	300	259	86.3
12 月	14	12	26	310	261	84.2
1 月	13	13	26	310	270	87.1
2 月	11	20	31	290	257	88.6
3 月	9	13	22	310	263	84.8
合計	154	219	373	3,660	3,134	
平均	12.8	18.3	31.1		261.2	85.6

参考 平成 30 年度 (2018 年度) 新規利用者 47 名 平均稼働率 79.6%

2 介護度別の延利用者数（2019年度）

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均介護度
4月	0	0	5	67	98	54	0	224	2.8
5月	0	0	14	59	123	50	3	249	2.7
6月	0	0	22	61	82	71	3	239	2.9
7月	3	0	26	57	109	65	3	263	2.6
8月	0	4	27	87	118	38	13	287	2.5
9月	0	3	39	75	109	32	16	274	2.7
10月	0	0	14	113	121	33	7	288	2.8
11月	0	0	19	108	90	32	10	259	2.7
12月	0	0	21	96	99	40	5	261	2.8
1月	0	0	33	81	111	36	9	270	2.7
2月	0	0	15	45	159	24	14	257	2.9
3月	0	0	21	61	153	14	14	263	2.7
合計	3	7	256	910	1,372	489	97	3,134	
平均	0.3	0.6	21.3	75.8	114.3	40.8	8.1	261.2	<b>2.8</b>

参考 平成30年度（2018年度） 平均介護度 **2.8**

3 利用者の年齢構成（2019年度利用者実績）

	～64歳	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	計
人数	1	4	12	20	35	51	46	25	194
割合	0.5%	2.1%	6.2%	10.3%	18.0%	26.3%	23.7%	12.9%	100%

➤ デイサービスセンター きよみず苑

2019年度は併設するサービス付き高齢者向け住宅の入居者増加に伴い、きよみずデイへの新規依頼が増加。3月末時点で20名の入居者登録となる。下半期頃より目標平均人数22名を越える月もあり大きな壁は打ち破れた。利用者増加に伴う業務手順の見直しや効率化も考察して今後も引き続きショートステイや特養も併設する総合福祉施設の強みをアピールし、安定した事業運営を目指す。

1 利用の状況 (2019年度)

※ ( ) 内はサ高住入居者

	開所日数(日)	利用者数(人)	延べ利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
4月	26	72 (13)	529 (107)	20.3 (4.1)
5月	27	74 (14)	569 (121)	21.1 (4.5)
6月	25	74 (13)	559 (111)	22.4 (4.4)
7月	27	74 (14)	580 (129)	21.5 (4.8)
8月	27	70 (13)	573 (125)	21.2 (4.6)
9月	25	73 (15)	566 (134)	22.6 (5.4)
10月	27	73 (16)	615 (158)	22.8 (5.6)
11月	26	73 (16)	576 (156)	22.2 (6.0)
12月	24	69 (18)	527 (155)	22.0 (6.5)
1月	24	72 (19)	532 (165)	22.2 (6.9)
2月	25	73 (19)	544 (173)	21.8 (6.9)
3月	26	72 (19)	576 (195)	22.2 (7.5)
合計	309	869 (189)	6746 (1729)	21.8 (5.6)

参考 2018年度の延利用者数は **6334 (1130)**、1日平均利用者数は **20.6 (3.7)**

2 介護度別の延利用者数 (2019年度)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護1	75	92	98	90	88	77	78	64	77	74	80	83	81.3
介護2	180	176	175	183	173	145	132	141	115	109	116	119	147
介護3	164	187	192	196	203	207	253	241	208	218	212	240	210.1
介護4	20	24	23	20	21	30	36	34	35	46	45	48	31.8
介護5	16	19	14	15	21	13	17	13	12	11	13	14	13.7
計	455	498	502	504	506	472	516	493	447	458	466	504	485.1
支援1	8	10	12	14	12	12	10	8	4	4	3	4	8.42
支援2	66	53	45	62	52	65	80	71	76	70	75	64	64.9
申請中	0	8	0	0	3	17	9	4	0	0	0	4	3.8
計	74	71	57	76	67	94	99	79	80	74	78	72	76.8
合計	529	569	559	580	573	566	615	576	527	532	544	576	562.2
平均介護度	2.18	2.22	2.21	2.18	2.25	2.28	2.29	2.34	2.29	2.36	2.33	2.38	
稼働率(%)	81.4	84.3	89.4	85.9	84.8	90.6	91.1	88.6	87.8	88.7	87.0	88.6	<b>87.4</b>

参考 2018年度の平均稼働率は、**82.0 %**

### 3 研修受講状況（2019年度）

4月	役付職員研修
5月	ビジネスマナー(接遇) 脱水・熱中症
6月	食中毒について
7月	感染症について 福祉運転送迎講習会
8月	誤嚥性肺炎について コンプライアンス
9月	口腔ケアについて
10月	インフルエンザ 身体拘束
11月	ノロウイルス 事故再発防止
12月	ビジネスマナー(接遇)
1月	認知症 プライバシー個人情報保護
2月	リスクマネジメント
3月	緊急時対応

#### ➤ ヘルパーステーション きよみず苑

サービス付き高齢者向け住宅への入居者増加もあり、新規利用が増え、実利用者数も増加した。(訪問総件数月平均 100 件増加) 3月末時点、入居者 41 名中 33 名の方がきよみず苑ヘルパーを使用され、全入居者の 80%の割合になっている。ADL の低下や体調不良が見られる方には本人・家族・ケアマネジャーと相談して介護保険外サービスも有効に使っていただいている。

#### 1 介護度別利用者数（2019年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援 2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4	3	34
要介護 1	4	4	4	4	5	6	8	8	9	7	7	8	74
要介護 2	6 (2)	6 (2)	7 (2)	7 (2)	6 (2)	6 (2)	7 (2)	7 (2)	7 (2)	7 (2)	7 (2)	7 (2)	80 (24)
要介護 3	12	14	13	13	13	13	12	13	13	14	13	13	156
要介護 4	0	0	0	0	0	1	1	1	2	3	3	3	14
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	20 (2)	20 (2)	20 (2)	22 (2)	22 (2)	23 (2)	24 (2)	24 (2)	23 (2)	23 (2)	22 (2)	25 (2)	370 (24)

参考 2018年度 延利用者数 268 (18)

( )内は外部派遣数

## 2 月別派遣数 (2019年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	要支援 1	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	0	47
	要支援 2	9	9	8	10	8	12	11	16	18	19	21	21	162
	合計	13	14	12	14	13	16	16	20	22	23	25	21	209
要介護	身体介護	109	137	111	128	127	151	149	141	188	244	234	238	1957
	生活介護	91	100	96	101	101	97	123	123	123	128	123	135	1341
	身体生活	19	27	22	20	18	18	22	17	16	20	18	17	234
	合計	219	264	229	249	246	266	294	281	327	392	376	390	3533
計		232	278	241	263	259	282	310	301	349	415	400	411	3741
介護保険外		64	33	43	45	39	35	46	40	41	44	47	67	544
総合計		296	311	284	308	298	317	356	341	390	459	447	478	4,285

参考 2018年度 総派遣数 3,021 件

## 3 自費対応の利用者数および入院・新規・中止者数 (2019年度) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
服薬管理	6	6	5	5	5	7	9	9	12	12	11	12	99
ラウンジ送迎	2	3	3	3	3	3	2	2	3	2	3	4	33
配膳	3	3	3	3	3	3	5	6	6	7	6	9	57
通院	2	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	8
洗濯	4	4	4	4	3	5	4	4	4	5	5	6	52
自費(家事)	2	1	2	2	1	0	0	0	0	1	3	2	14
自費(身体)	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	13
入院	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	0	8
新規	0	2	1	0	1	4	3	1	3	1	0	0	16
中止・死亡	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	4

\*入院は、入院により1ヶ月間利用の無かった利用者のみ

➤ ケアプランセンター きよみず苑

2019年度はサ高住の入居者増加に伴い、ご利用者様・ご家族様にサ高住の生活をイメージして頂けるよう積極的に事前面談を行い、各事業所と連携しスムーズなサービス提供が開始できるよう努めた。

9月には他事業所からの引継ぎやサ高住入居者増加により12月には最大56件の給付管理数となったが、下半期は利用者の長期入院や老健入所等が重なり給付管理数が伸び悩んだ。

1 介護度別の給付管理数 (2019年度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	8	10	10	10	11	13	15	13	14	14	13	12	143
介護2	12	11	12	11	9	9	12	12	12	11	11	12	134
介護3	17	19	19	18	19	24	23	24	24	23	23	24	257
介護4	4	4	4	4	3	4	4	4	6	6	4	4	51
介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
計	41	44	45	43	42	50	54	53	56	54	51	53	586
平均介護度	2.30	2.39	2.38	2.29	2.40	2.25	2.30	2.36	2.39	2.39	2.35	2.43	2.48

参考 2018年度の給付管理数合計 563件 平均介護度 2.48

2 介護予防受託数 (2019年度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	3	3	3	4	4	6	6	6	6	6	6	5	58

参考 2018年度受託合計 56件

3 研修受講状況 (2019年度)

施設外研修

4月	やましな認知症サポート連絡会、山科区介護支援専門員連絡会
5月	ケアマネ更新研修
6月	ケアマネ更新研修
7月	ケアマネ部会研修
8月	スーパービジョン研修
9月	京都式ケアプラン点検研修
11月	京都市主催研修会 介護予防ケアプラン作成
2月	連絡会研修 (尊厳について)



## ➤ サービス付き高齢者向け住宅 きよみず苑・京都東

2019年度は、地道な営業活動や敷金無料キャンペーン等の成果により夏頃より問い合わせが増加。在宅サービス部全体の協力連携体制強化のもと、より重度な入居希望者も受入れ対象とすることで下半期からも順調に入居に繋がり、最終38室で次年度に繋ぐ事ができた。また8月に併設クリニック閉院に伴う事前説明会を開催し、家族や入居者にも理解を得た。苑内の定期イベントも定着。特に栄養管理課によるクッキング教室や特別喫茶での手作りお菓子の提供などは毎回入居者から好評を得ている。

### 1 入居の状況（月末の契約数）

	入居室数 (月末)	新規 入居室数	退居 室数	入居者数(人)		
				男性	女性	合計
4月	30	0	0	7	24	31
5月	32	2	0	8	25	33
6月	32	0	0	8	25	33
7月	31	0	1	8	24	32
8月	31	1	1	8	24	32
9月	33	3	1	8	27	35
10月	33	1	1	9	27	36
11月	35	2	0	10	28	38
12月	37	3	1	12	29	41
1月	38	1	0	12	30	42
2月	37	0	1	12	29	41
3月	<b>38</b>	2	1	12	29	41

2019年度 平均入居者数 **36.3**名、新規入居室数 **15**、退居室数 **7**  
 参考 2018年度 平均入居者数 **28.6**名、新規入居室数 **7**、退居室数 **3**

### 2 入居者の年齢構成（2019年度末現在）

年齢	~64歳	65歳~	70歳~	75歳~	80歳~	85歳~	90歳~	95歳~	100歳~	計
人数	0	1	1	6	2	13	16	2	0	41
割合(%)	0	2.4	2.4	14.6	4.9	31.8	39	4.9	0	100

2019年度末の平均年齢は、**87.0**歳  
 参考 2018年度末の平均年齢は、**87.2**歳

3 入居者の介護度 (平均介護度は認定者のみで算出、要支援1を0.5 同2を0.8で換算) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合(%)
自立	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	5.5
要支援1	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	44	10.1
要支援2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4	3	34	7.8
要介護1	5	5	5	4	4	7	8	8	9	10	10	10	85	19.6
要介護2	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	6	7	68	15.6
要介護3	13	14	14	13	13	13	13	14	14	14	13	12	160	36.8
要介護4	0	0	0	1	1	1	1	2	3	4	3	3	19	4.4
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.2
計	31	33	33	32	32	35	36	38	41	42	41	41	435	100
平均介護度	2.03	2.01	2.01	2.08	2.08	1.95	1.92	2.01	2	2.06	1.99	2.07	2.02	

参考：2018年度平均介護度は、1.87

4 行事・レクリエーション 実施状況 (2019年度)

外出行事

11月	紅葉狩りドライブ (参加者7名)
-----	------------------

毎月実施の定例レクリエーション

第1木曜日	たちばな健康体操
第2月曜日	マツヤスーパー買い物
第3木曜日	脳トレーニング (ゲーム・製作レク)
第4木曜日	映画鑑賞会 (ラウンジ)
毎月1回	管理栄養士によるクッキング教室・喫茶
その他	セブンイレブン苑内出張販売

### 3) 本部管理部

新組織体制下での「施設管理課」「栄養管理課」「健康管理課」の3管理課は、以前より課題であった東旺苑、きよみず苑の施設割で業務を行っていたやり方ではなく、両施設を一つとして考え両施設内での異動及び特養サービス部、在宅サービス部との緊密な連携を行い、情報を共有し、栄光会一体として事業運営が円滑、且つ効果的に進められるよう取り組んだ。

#### ➤ 施設管理課

人事・経理・保安・営繕において、栄光会全ての部署に関連する課として、施設面から人材確保育成まで各部門の運営が円滑に進むべく、取り組んでいる。

#### ○施設維持管理、保安

- 2019年7月までは、東旺苑・きよみず苑と施設の維持管理や、各種法定点検などはそれぞれの取引先での実施であったが、2019年8月より東旺苑の業者をきよみず苑の業者に変更し、可能な限り同一業者への統一化を計る事が出来た。本年度は変更年度であったため経費が二重に掛かったが、緊急時の迅速な対応の確保、作業の効率化ができ、来年度以降には経費の削減が出来る予定である。
- 日常の営繕業務において、両施設の業務の一元化に取り組み、年間、月間スケジュールにおいて、効率的に取り組むことが出来た。  
\*空調機フィルター清掃作業、雑草処理、高所作業など実施
- 防火防災管理は、両施設の防火管理者が情報共有を行い、相互の協力体制を築いた。尚、きよみず苑は次年度からデイサービス単独での訓練も実施する。

#### \* 自主防災訓練の実施状況

実施月	訓練内容	実施施設
8月	自衛消防訓練(日中想定)	きよみず苑・京都東
12月	自衛消防訓練(夜間想定)	特別養護老人ホーム東旺苑
3月	自衛消防訓練(夜間想定)	きよみず苑・京都東
3月	自衛消防訓練(日中想定) 土砂災害に係る避難訓練(日中想定)	特別養護老人ホーム東旺苑 特別養護老人ホーム東旺苑
3月	京都市シェイクアウト訓練	全施設

#### ○人材確保・育成

- 本年度は、各部署の稼働率が好調に推移する中で安定した人材確保に向け対応した結果、入職者数 30名、離職者数 27名と、昨年に引き続き人員不足に一定の歯止めをかけることができた。  
法人の直接雇用の採用ルートのうち、計画通りハローワークの定期的な募集メンテナンスの結果、直接雇用 15名中、8名がハローワークから確保できた。その他では、インターネットの安価な紹介サイトから1名、職員からの紹介など、費用をかけることなく中途採用を行うことができた。  
離職者の内訳としては、短期間契約の繰り返し毎に判断する派遣について、不向きな人材を更新しないこともあり 18名と多いが、法人の直接雇用においては定年及び高齢等での離職理由 4名を除くと実際の転職による離職者は3名のみと比較的安定してきている結果であった。
- 懸案の新卒採用においては、就職フェアへの参加、各学校へのアプローチを行うも、業界として年を追う毎に希望者が減少してきている中、コンタクトも多く取れず、結果入職には至らなかった。普通課高校など一層募集範囲を広げる等、今以上に福祉希望者にこだわらない幅広い取組が課題である。

- 3 派遣職員から直接雇用に切替える取組については、正規職員への転換は3名、非正規職員への転換は1名と、計4名の転換が行えた。国の助成金「キャリアアップ助成金制度」の利用は、認定条件が厳しく改定され、転換した本人の賃金が派遣時の賃金に対し5%以上の賃金上昇が条件となったため、本年度は正規職員転換3名中2名が助成金の申請対象となった。他の1名は非正規雇用のため、助成金の対象とはならない。転換を行った職員はいずれも優秀な人材であり、派遣雇用を続けるのに比べ、直接雇用にした結果、紹介手数料発生分は、ほぼ5~6ヶ月で派遣を継続した場合の経費で消化できる結果となり、その後は経費が圧縮できる結果となった。

#### 4 法人合同研修の開催状況

開催月	研修名	講師	参加人数
4月	役付職員研修（2019年度事業計画について）	統括施設長、各部部长	18名
5月	ビジネスマナー①（接遇について）	事務長	63名
8月	コンプライアンス研修（利用者の人権を守る）	外部講師	39名
10月	身体拘束禁止と高齢者虐待防止	外部講師	44名
12月	ビジネスマナー②（接遇について）	局長	54名
2月	リスクマネジメント（苦情対応について）	外部講師	41名

#### ○地域貢献

地元の地域自治会へ加入継続するとともに毎年開催される地域自治会主催の定期的な催しへの参加のほか、地域町内会への会議会場の無償提供、各施設で開催しているイベントへの地域住民の招待、防災訓練への参加の呼びかけ、地元地域を対象とした配食サービスの実施、また、本年度から始まった「百々小学校区カギ預かり事業」への参加など、積極的に地域と連携し地域貢献に努めた。

\*年末の餅つき大会や夏祭りへの招待、防災訓練へ近隣住民の参加など

#### ○経費削減・補助金利用

- 1 一昨年から取り組んでいる、消耗品の共通化一括購入による経費削減について、引き続き同等商品でより安価な物への転換を行った。  
しかし、長期間または頻繁に使用するものは、金額よりも丈夫な物を購入している。  
新たな取引先の開拓も、現在使用の商品の相見積を取り常に検討している。
- 2 人材定着のキャリアアップ助成金制度の引き続きの利用のほか、その他に、新たに補助金受給に繋がる案件を調査、精査し、取り組んでいる。また、東旺苑での今後発生してくる施設の改修や機器の入換え、車両の乗り替えなど多額の資金が必要なものは、まず補助金受給を念頭に計画的に取り組んでいる。次年度に向けて既に申請中の案件もある。
- 3 年々上昇する人件費については、派遣職員の経費が引き続きの課題であるが、派遣職員から正規職員の登用だけでなく、正規職員登用に該当しないが長期間にわたり勤務する派遣職員について、直接雇用の非正規職員への転換が長期的に見て経費削減に繋がると判断した場合は、検討のうえ取り組み、人件費削減の一環とした。

➤ 栄養管理課

東旺苑及びきよみず苑を担当する栄養管理課として、現在も連携している計画実行のものについて検証しつつ、新組織体制のもと、各部門と連携し、より良い「食・栄養」の提供と共に利用者の「楽しみ」の提供に積極的に努めた。

○ 配食サービス事業について

1年を通し利用者が減る時期と増える時期があったが年間平均で13.7食と補助金対象となる食数はクリアできた。認知症が進んでいる方等への配食も増加しているため、更に入出入りが激しくなることも考えられる。次年度は少し多めの利用数を保ちたい。

利用状況 (2019年度)

(単位：食)

	要介護 (500円)	同居 (670円)	自立 (750円)	合計
4月	403	—	—	403
5月	338	—	—	338
6月	371	—	—	371
7月	405	—	—	405
8月	465	—	—	465
9月	474	—	—	474
10月	482	—	—	482
11月	454	—	—	454
12月	451	—	—	451
1月	418	—	—	418
2月	375	—	—	375
3月	385	—	—	385
合計	5021	—	—	5021
1日平均	13.7	—	—	13.7

参考 2018年度は、配食合計 4920食、1日平均 13.5食

○東旺苑・きよみず苑

- 1 東旺苑・配食・きよみず苑利用者の声を食事に反映できるよう、1年に一回は嗜好調査・アンケートを実施している。本年度は2020年2月に実施して結果を公表した。  
特養の利用者のADL低下で内容を理解できない人がいるので、もっと簡単な内容で食べたいものを聞ける様なアンケートに次年度は変更する。
- 2 最新情報の取得、他施設との情報交換のため、市老協の会議や研修に積極的に参加した。
- 3 きよみず苑での食事のトラブルは以前に比べ大きく減少した。二名の管理栄養士が密に連絡を取り、他部門の職員と情報を共有して連携を図ることができた結果である。
- 4 サ高住での月1回の特別喫茶は入居者に毎月とても好評で喜んでもらえた。サ高住も満室に近く1回の参加人数も30名近くになっている。入居者に喜んでいただけるメニューの継続をしていくように次年度も取り組んでいく。

## ➤ 健康管理課

新組織体制の健康管理課として、これまでの施設毎の活動から、様々な面において密接に連携をとり、職員への教育研修体制、各部門と連携した利用者の健康管理体制を徐々ではあるが前進させることができた。

又、きよみず苑クリニックが2019年9月末日付で閉院後、東旺苑診療所のきよみず苑「特養医務室」という位置付けに変更となり、健康管理課として新組織体制の基礎構築に努めた。

### ○利用者が、日々安心安全に過ごす事が出来る環境の維持推進

- 1 日常の健康管理業務においては、嘱託医による定期的な診察の実施と他部門との情報共有を積極的に計り、利用者一人ひとりの健康維持に努めた。
- 2 衛生的な環境を目指し、利用者の管轄部門並びに栄養管理課との連携を密に取り、日々の環境整備、緊急時の迅速な対応をおこなった。
- 3 きよみず苑クリニック閉院に伴い、サ高住入居者へは東旺苑診療所所属嘱託医師の協力医療機関による訪問診療の紹介など、引き続きサ高住で安心・安全に日々過ごしていただける医療サポート体制への移行に在宅サービス部と共に取り組んだ。

### ○運営面において

- 1 東旺苑、きよみず苑共に相互に協力し情報を共有できる体制作りをおこなった。
- 2 定期的に健康管理課会議を開催し、情報共有や問題解決に向けて協力して取り組んだ。
- 3 緊急時の看護職員の応援、イベント開催時などの応援など、相互のヘルプ体制に取り組み、利用者を中心に行動した。

### ○運営する施設の課題である感染予防や利用者に関する様々なリスクの低減を目標に、年間を通じて計画的に健康管理課として連携した取組みについて

- 1 定期的実施する感染症対策委員会における感染予防の啓発、インフルエンザ対策など季節的な感染予防の取り組みについて、研修も踏まえて対策を進めてきたが、東旺苑においては、1月中旬に、介護職員からインフルエンザを発症し感染対策を行っていたにも関わらず利用者7名へ感染させてしまう状況となった。また、きよみず苑ではショートステイ利用中の利用者1名がインフルエンザを発症し職員2名も罹患したが、他の介護職は予防投与を行ったため、感染拡大をくい止めることができた。これを踏まえて次年度は利用者への対策だけでなく、職員の更なる感染防止意識の向上にも一層注力していく。
- 2 職員の研修受講についても両施設で相互に受入れ、受講機会、受講人数を徐々に増やし、意識や知識の法人内への浸透を計り、リスクの軽減へと繋げた。
- 3 普通救命講習、AED講習などの実施について、健康管理課として所轄消防署と連携し定期的実施。受講者を増やし知識・技術の習得に努めた。次年度も引き続き実施していく。
- 4 外部機関等で実施される研修等について、施設内での修得には限界のある最新の情報や、必要な知識などの研修・勉強会について可能な限り積極的に参加し、法人内での伝達に努めた。